

1. 「ニューコミュニティのビジョン」を確認しましょう

私たちのビジョンは、イエスキリストの弟子として神の愛に生きることをめざし、
聖霊によって互いに愛し合う交わりを生み出していくことです

2. 今年度のニューコミュニティ全体の方針は次のことです

① 祈る人、祈る交わり、祈る教会となる

何よりも私たちの信仰の土台をしっかりと築きたい。一人一人が祈りにおいて成長し、私
たちの小さな交わりが祈りを中心とした交わりとなることをめざそう。

② 時代を繋いでいく

小平牧生牧師は 1989 年から主任牧師を務めている。主が新たな牧師を与えてくださることを
を祈りつつ、全チャペル・全世代で、神の家族としてのちと働きを繋いでいこう。

3. 西宮チャペルの運営について 「働きのチーム」と「執事会」

① 大事にしたいこと

- ・自分たちのこととして世代や立場を超えて取り組みたい。そこから最善の道が開かれる。
- ・何よりも一人一人が活かされることを大切にしていく。
- ・牧師を含めて、働き人が減少する時代に対応できる教会となることをめざす。
- ・どんなあり方も完全ではないことを認める。
- ・変化しなければならぬが、焦って早急に進めない。ゆっくりやろう。

② チームと執事会について

- ・神の家族としてみんなで教会の責任を負う。執事会(役員会)はその全体の責任を持つ。
- ・一昨年、チャペルの働きを担当執事制から、個人の主体性を活かす自発的チーム制に変更した。この二年の経験からチーム制の長所を活かしつつ、必要な改善をする。
- ・具体的には、従来の担当執事制と自発的チーム制を合わせた形にする。執事は五つの働きを担当し相互の調整を行う。チーム制がなじまない働きは執事会のもとに委員会を置く等。
- ・執事の務めを過重にしない。二年前に執事を選任できなかったことを忘れてはならない。

③ 執事選出のプロセス (案)

- ① 現執事会で執事候補を選出する。7名の倍数 14名。
- ② チャペルの全員で執事を選出する。
- ③ 総会で他のチャペルのリーダーとともに教会全体で決議する。

4. (付け足し) 小平牧生、恵の奉仕について

- ① 主と教会の許しがあるならば、ニューコミュニティの牧師として続いて仕えていきたい。教団の牧師の定年は 75 歳 (延長の場合は最大 80 歳まで。その後は引退牧師としての協力)。
- ② その間に後任牧師を迎えることができれば、主任牧師の移行に必要な期間を経て、ニューコミュニティとしての新たなコミュニティでの奉仕も可能かと思う。
- ③ ただし今後は肉体面を始め弱さと限界が表れてくるのが想定されるので、牧師として他に代わるできないことを優先して行いたい。同時に、牧師不足の中で、超教派、教団において、また牧師不在の教会の責任を負わなければならないことを理解していただきたい。